

金 型



●エッチング加工及びプリント配線板の製作

株式会社棚澤八光社

▶TEL: 072-984-8841 FAX: 072-984-8903

▶URL: <http://www.tanazawa.co.jp/>

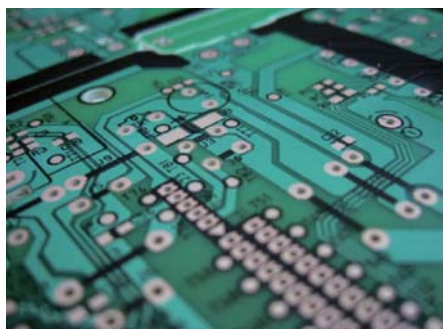


繊細なプラスチック製品を生み出すシボ加工技術で、国内シェア5割以上を保持

プラスチック成形金型に繊細なシボ加工を施す技術で国内シェア55%をもつ。創業者が使用し始めた「シボ」という言葉は今や世界中で使われている。シボ加工（皮シボ、梨地、線、布柄、木目等）は、非常に繊細な加工が可能で、立体感のあるナチュラルな三次元パターンの再現に優れている。自動車の内装用模様や住宅用内外装建材、家電のプラスチックケースなど幅広い用途に使われており、製造工程での合理化や製品の質感アップに貢献している。



セラシボ金型を用いた製品



片面プリント基板

事業概要と躍進の契機

困難であった三次元曲面への印刷技術を開発

かつては銘板を製造していたが、戦後、エッチング技術を活かして金型製作や電子部品に応用していった。当時は、平面に模様をつける技術レベルであったが、困難とされていた三次元曲面への印刷技術を開発したことにより、顧客が拡大した。

会社の強み・主力商品など

シボ加工とプリント配線基盤の2枚看板

金型とプリント配線の二つの柱で事業を営んでいる。金型事業では量産金型へのシボ加工、試作・成型品へのシボ加工、プリント配線事業部ではパターンの設計から金型まで製作。片面プリント配線基盤の製造では国内トップシェアを誇っている。

今後の事業展開

研究開発型企業として新たな技術革新への挑戦

現状に甘んじることなく新技術開発、海外展開にも取り組んでいる。シボ加工事業では、「セラマット」や「バナトーン」などの技術開発に取り組んでいる。セラマットは、金型のシボ加工面に対し、表面に耐熱・耐摩耗材料により構成された微細凸を付与することにより製品の品質を向上させる処理。バナトーンは、従来の金型へのシボ加工やレーザー貼り等を行わないで、製品の表面に凹凸のシートを貼る技術で、試作品・成型品・モックアップ等の用途に用いられる。

●企業プロフィール

〒579-8013 大阪府東大阪市西石切町2-1-10
代表取締役社長 棚澤 肇
創業:1905年(明治38年) 設立:1953年(昭和28年)
従業員数:350名
資本金:2億円

企業メッセージ

社会の新しい需要に応え、信頼される確かな技術で豊かな社会を創造。社会の公器として、技術を通じ社会に貢献するとともに、社業を通じて幸福を与える企業をめざします。人は企業の財産。企業人としての人格を尊重し、仕事環境の充実に努めます。

代表取締役社長 棚澤 肇

